

石川県教育支援センター

やすらぎ小松通信

〒923-8531 小松市島田町イ 85-1 (小松北高校敷地内)

TEL 0761-23-6669 FAX 0761-21-7479

E-mail yasuko@m1.ishikawa-c.ed.jp



初秋の候、皆様にはいかがおすごしでしょうか。

夏休みも終わり、授業も始まりました。例年より日照時間が短い夏でしたが、疲れは出ていませんか。朝晩と涼しくなり、一日の気温差が大きくなり体調に影響が出やすい時期です。秋の虫の音を聞いてみたり、読書をしたりゆったりと過ごす時間を大切にすることが健康生活の鍵となるかもしれませんね。

子どもたちにとっては、秋は学校行事も多く、学習面でも重要な時期です。それゆえに心身にも負担がかかってきます。子どもたちの変化にも気を配って、適切なフォローが必要とされる時期でもあります。

やすらぎ小松では、下記のように相談会を開催します。また、SSW の相談会が、月 1 回から 2 回に増加されました。課題を抱えた子どもたちの問題の早期解決のために、ご活用いただければと願っております。

■ 教育相談状況 ■

月	来所相談	出張相談	電話相談	合計
7月	17	0	22	39
8月	5	0	7	12

(延べ人数)

※学校や家庭でのお子さんの悩み事について、何でもご相談下さい

■ SV (スーパーバイザー) 個別相談会 ■

要予約

臨床心理士 浅田伸史先生による相談会

9月… 5日、12日、19日、26日

10月… 3日、10日、24日

11月… 7日、14日、21日

※原則として
火曜日の午前中に
実施しています。

■ SSW (スクールソーシャルワーカー) 相談会 ■

要予約

社会福祉士 上野幸子先生・北脇宜和先生による相談会

* 来所相談、各高校への派遣、ケース会議の出席依頼 等

* 今月から上野先生 (金城大学短期大学部非常勤講師) も担当 SSW になりました。

9月… 19日 (火)、 26日 (火)

10月… 10日 (火)、 24日 (火)

11月… 14日 (火)、 21日 (火)

赤: 上野

黒: 北脇

※ご希望の方は、「やすらぎ小松教室」へご連絡下さい。

電話 0761-23-6669

■ 第1回 小松・能美地区高等学校事例検討会（報告） ■

日時 8月1日（火） 10:00～12:00
場所 小松北高校
講師 浅田伸史 氏（臨床心理士）、北脇宜和 氏（社会福祉士 SSW）
参加 小松・能美地区高等学校 教育相談担当の先生方
柳瀬道雄指導主事（県教委学校指導課）、やすらぎ小松教室職員

*上記の日程で行いました。各校の相談状況及び、日頃からの悩みを出し合いました。浅田先生のアドバイスをいただいて大変有意義な会となりました。今回は、SSWが「やすらぎ小松教室」に派遣されるようになったことから、県教委学校指導課 柳瀬指導主事にもご参加いただきました。

各校の教育相談担当の先生方、ありがとうございました。以下に話し合った内容を一部ご紹介します。

□休みがちでも「悩みはない」と言って相談やカウンセリングを受けようとする生徒への対応について

- ・「本人が気付いていない、自覚できていない」という場合と、「ちょっと何か気付いているが、認めたくない」という場合がある。
- ・いつ頃から体調が悪くなったかを聞き、良いことでも悪いことでも、その時期にあったことを聞き出してストレスの原因を探ることによって、とっかかりをつかむことができる。
- ・まず本人が越えられそうな「低い」ハードルを設け、状況を見てやれるラインを調整していく。
- ・保護者だけのカウンセリングも有効。保護者の言動が生徒本人のプレッシャーになっている場合もある。「子どもをどうしよう」というのではなく、「自分の関わり方をどうしよう」と保護者が考えられるようになれば解決につながりやすい。

□課題を抱えた生徒への組織的な対応と、関係機関との連携について

- ・摂食障害のある生徒の修学旅行への参加にあたり、修学旅行隊を中心にチームを組んだ事例がある。安全な参加のために話し合いを深め、その結果、問題なく旅行を終えることができた。この時の組織的な対応を生かし、生徒が課題を克服し、卒業そして進路実現が図れるように繋げていった。
- ・3年次に「やすらぎ小松」へ最初は母親が、やがて本人もカウンセリングを受けに来るようになった。やすらぎは事前に本人の現状をについて学校から寄せていただいた情報をSVに伝え、さらにSVのアドバイスを学校へ伝え、学校ではチームが問題解決のために動いた。
- ・卒業後の事も見据え、地域の福祉部局、社会福祉協議会とも連携し、医師も交えたケース会議を持った。その結果、本人は無事卒業し、希望の大学へ進学することができた。

□スクールソーシャルワーカーの活用について

- ・ソーシャルワークの流れは、当事者との間に信頼関係を構築し、どのような課題を抱えどのような生活をして、どんな経緯をたどって今に至っているのかを判断し、それに基づきプランニングをして支援を行いながら、その都度モニタリングを行って支援が適切か再アセスメントし、終結を見すえて支援を行っていく。
- ・心の専門家であるスクールカウンセラーと福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーからの支援を受け、経済的・医療的・地域的な支援につなげ、生活環境の改善によって、子どもの支援につなげていく。

『やすらぎ小松教室』

ゆっくりと心と体を休めませんか
一人で自分を見つめてみませんか
ときには仲間と語り合いませんか
自分のできることを見つけませんか

悩む君たちとともに歩む教室です

